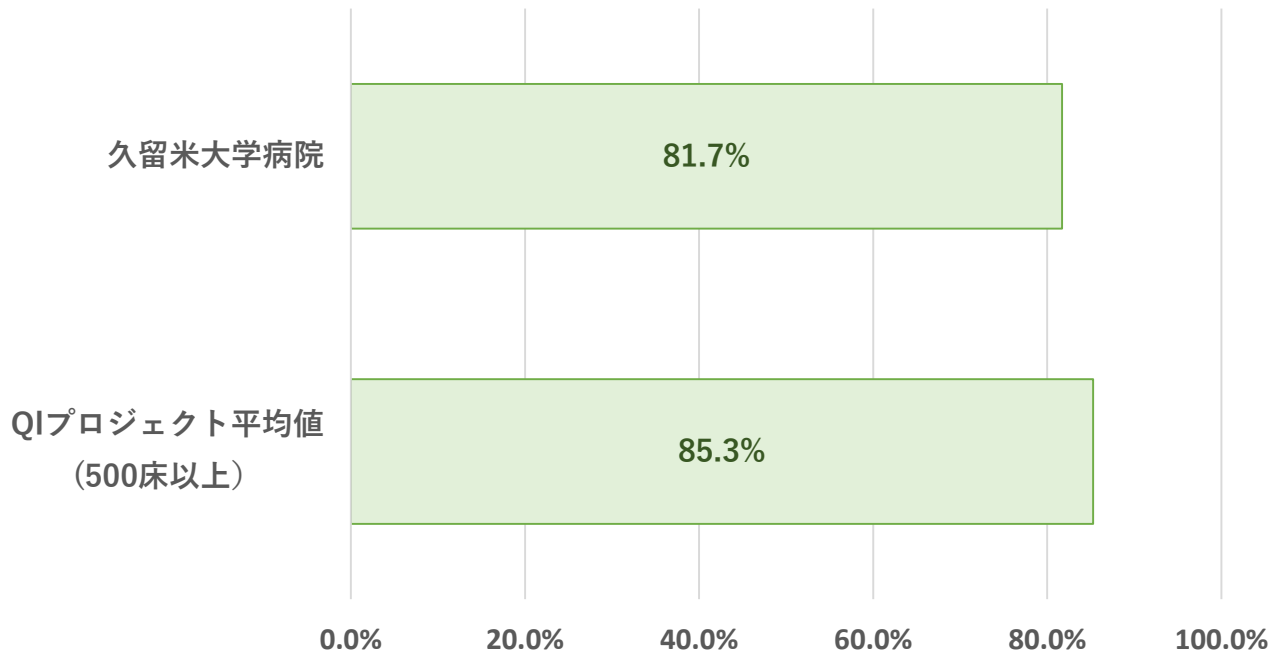


アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬 (PPI/H2RA) 処方率

2023年度



指標の説明

アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPIまたはH2RA）処方率は、胃腸障害の予防策として重要なクリニカルインディケータです。アスピリンは血栓予防に有効ですが、胃腸の副作用リスクも高めます。酸分泌抑制薬の併用は、このリスクを軽減し、患者の安全と快適性を向上させます。この指標は、患者が適切な胃保護療法を受けて退院する割合を示し、医療機関がガイドラインに沿った質の高いケアを提供しているかを評価するのに役立ちます。ここでは、日本病院会のQ Iプロジェクトの平均値（回答数=102）と比較しています。

定義

分子：退院時に酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）が退院時に処方された患者数

分母：退院時にアスピリン内服薬が処方されている18歳以上の患者数

考察

本指標は、より高い方が望ましいとされています。当院のアスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率は、Q Iプロジェクトの平均値85.3%より低い81.7%となりました。